

3 神前地区の特性・予想される災害と課題

(1) 地区の特性

• 地区の南方には西から東に向かって矢合川・三滝川が流れ、これらの河岸に形成された地域は低地となっており、過去に大雨で浸水したことがある。

• 三滝川が過去に大雨で決壊したことがある。

資料「既往浸水地域図」参照

資料「四日市市液状化危険度分布図」参照

• 地区の北方には里山を抱くが、急傾斜地やため池が点在している。

• 地区内の旧集落では住宅が密集している地域があり、消防車や救急車がスムーズに進入できない路地で形成された町並みが散見される。

• 山を切り開いて造成された住宅団地などの地域がある。

• 地区の東方には、活断層が確認されている。

資料「活断層図」参照

• 直下型地震により液状化が著しいとされている地域がある。

• 地区の高齢化（70歳以上）率が24.4%と高い状況である。

(2) 予想される災害と課題

「集中豪雨や台風による災害」

• 三滝川の氾濫や堤防又はため池の決壊

• 高角町矢合地域及び三滝川両岸堤防沿いの低地周辺等での家屋への浸水

• 寺方町及び上名ヶ丘等の地域におけるがけ崩れ

「地震による災害」

• 家屋の倒壊や火災（倒壊家屋の下敷き、延焼拡大など）

• 寺方町及び上名ヶ丘等の地域におけるがけ崩れ

• 液状化による家屋の不等沈下や倒壊

「防災活動の課題」

• 住宅が密集している地域での火災発生時の延焼拡大阻止

• 避難行動要支援者（高齢者、障がい者など）の把握及び支援方法等の確立

• 安否確認及び避難誘導（避難判断、ルート、方法など）等の確立

• 避難所運営に係る人材育成、要員確保及び運営方法の確立

• 災害活動時における各種リーダーの養成

• 女性及び青少年層等の積極的参加